

第23期(令和元年11月～令和4年10月)
 【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
 ～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】
 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
 ●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する
 ●コロナ禍を乗り越える中小企業の事業継続・雇用維持を全力で支援する【追加】

【取り組みの現状】
 ※下線の数値は第3四半期末実績

—新型コロナ感染症関連事業等—
 ・相談・支援／2,511件（※令和2年1月～3月を含む）
 ・食べて応援プロジェクト登録店舗／243件
 ・安心安全おもてなし宣言飲食店認証／239件
 ・豊橋から手筒花火でエール放揚
 ・各種オンライン対応／合同企業説明会、モグジョブ、セミナー・講演会、議員昼食会など

—中小企業支援—
 ・巡回・窓口相談／1,711件
 ・マル経融資／40件・28,170万円
 ・創業支援／相談件数 119件・新規創業者数 7件
 ・事業承継診断／14件
 ・BSC専門家派遣／70件
 ・補助金申請支援／410社

—人材確保・育成・生産性向上—
 ・合同企業説明会等／6回開催、企業 273社、学生数 761名
 ・無料職業紹介所／求人数821名、求職者145名
 ・モグジョブ／開催数20回・参加事業所数48社・参加学生数106名
 ・IT化、IoT導入支援／20件
 ・セミナー・講習会／16講座・310名
 ・ビジネスパーク（秋のみ）／講師数102名・派遣校17校・参加生徒2,672名

—産業振興—
 ・東三河産業創出協議会／三遠南信商談会、ものづくり博企画検討など
 ・“地域の絆”情報交換・商談会／参加127社・商談100件（予定）

—観光振興—
 ・炎の祭典／4Kプロモーション動画による情報発信、霜月炎の舞開催
 ・ええじゃないか豊橋まつり／オンライン総おどり参加（青年部、女性会、事務局）

【中止した主な事業等】
 ・イベント関連／ものづくり博2020in東三河、炎の祭典（豊橋球場、弥生炎の舞）、豊橋みなとフェスティバル、GoTo商店街事業
 ・会員向け事業／合同企業説明会等（4日間）、婚活パーティー、会員懇談会

I. コロナ禍の克服と地域経済の活力強化

【主な取り組み・達成目標】

重点テーマ① 持続的成長を導く企業支援

1) 伴走型支援の推進
 ① 新型コロナウイルスの影響克服に寄り添う経営相談の積極対応
 ② 国・愛知県・豊橋市のコロナ対策関連施策の普及・活用支援
 ③ 社会変容や新たなニーズに即した支援の強化（事業再構築、販路拡大、プロモーションなど）

2) 相談支援機能の強化
 ① 愛知県事業承継・引継ぎ支援センター 豊橋サテライトオフィスの開設
 ② 多様かつ高度な経営課題を解決する専門家の拡充

●事業再構築や収益回復に繋げる、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への対応
 ●事業計画策定を軸にした伴走型支援の推進
 ・事業再構築、事業承継、創業等の事業計画策定支援：250件
 ・ビジネスサポートセンター専門家派遣：100件
 ・補助金申請支援：450件、目標採択率：70%以上

重点テーマ② デジタルシフトと人材確保・育成

【主な取り組み・達成目標】

1) 加速するデジタル化への対応支援
 ① 個社の規模、特性に応じた「身の丈IT」導入支援
 ② 新たな市場獲得を図る海外越境EC活用支援

2) 人材確保・活躍支援
 ① オンラインを取り入れた学生就職情報センターやモグジョブ等による人材確保
 ② 都市から地方への流れを取り込んだ移住人材に焦点を当てた採用支援
 ③ 高齢者や女性、外国人人材の活躍を進める企業の取り組み支援
 ④ 健康経営の普及や啓発など、働き方改革関連法への対応支援

3) 人材育成・雇用安定
 ① セミナー・講習会・検定試験等の充実とオンライン化の推進
 ② リカレント教育や資格取得の推進支援
 ③ ビジネスパーク事業による将来の地域と企業を担う人材の育成

●専門家やIT企業と連携したIT化・IoT導入支援
 ・相談支援件数／50社
 ・IT導入支援委員会による支援体制・支援メニューの構築
 ●越境ECモールとの業務提携による海外販路拡大支援
 ●東京商工会議所と連携した在京大学等と会員企業のネットワーク構築支援
 ●各種検定試験のWEB化に伴う受験者の拡大
 ・日商／簿記検定・リテールマーケティング検定
 ・東商／eco検定・ビジネスマネージャー検定等

重点テーマ③ 地域特性を活かした産業形成・産業振興

【主な取り組み・達成目標】

1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携
 ① 東三河スタートアップ・サテライト支援拠点を活用したスタートアップの創出育成支援
 ② 東三河産業創出協議会を軸とした新事業創造・マッチングの支援や新たな産学官金のプラットフォーム形成
 ③ 地域の絆情報交換・商談会など、多様なネットワークを活かしたビジネスマッチングの支援
 ④ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を通じた産業振興の推進

2) 商業・サービス業振興
 ① GoTo商店街事業をはじめコロナ禍で喪失した需要を取り戻す各種キャンペーンの実施
 ② 業種・業界の枠組みを越えたテストマーケティングの展開

3) ものづくり振興
 ① ものづくり博2022in東三河の開催に向けた企画検討
 ② サプライヤー企業の成長を促す技術提案型の商談会の実施

4) 観光振興
 ① ウィズコロナ時代の観光ニーズを捉えた炎の祭典の開催
 ② 連続ドラマ「エール」放映を縁とした福島市との連携

●東三河スタートアップ推進協議会（仮称）への参画による「農業・食」に関するスタートアップの創出及び地域への呼び込み
 ●「安全安心おもてなし宣言飲食店」認証制度の普及と啓発
 ・認証店舗数：300件
 ●三遠南信、愛知県、東三河など、広域的な産業支援機関や大学のネットワークを活かした、販路開拓、取引拡大、テストマーケティングなど多様なビジネスチャンスの創出につながる商談会・マッチングの展開
 ・商談・マッチング件数：200件
 ●東三河ものづくり関連産業の強みを内外に発信するとともに、次世代ものづくり人材の育成支援を目的とした「ものづくり博2022in東三河」の開催に向けた企画・準備（デジタルシフトなど新たな潮流を意識）

第23期(令和元年11月～令和4年10月)
 【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
 ～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】
 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
 ●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する
 ●コロナ禍を乗り越える中小企業の事業継続・雇用維持を全力で支援する【追加】

【取り組みの現状】

—新型コロナ感染症関連事業等—
 ・全会員向け影響把握アンケート/2回
 ・東三河広域経済連合会「コロナ危機からの経済再生提言」/愛知県東三河県庁、東三河広域連合

—調査事業—
 ・景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査

—政策提言・要望活動—
 ・浜松三ヶ日・豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、名浜道路等の整備促進
 ・三河港の整備促進
 ・設楽ダム建設促進
 ・愛知県・豊橋市への要望

—広域連携による地域づくり—
 ・豊橋技術科学大学との包括連携協定締結
 ・東三河スタートアップ・サテライト支援拠点の検討参画
 ・豊橋湖西県境地域企業懇話会の設立・要望活動
 ・三遠南信 新連携ビジョンの推進

—中心市街地活性化—
 ・とよはしキラキラ☆イルミネーション

【中止した主な事業等】
 ・東三河広域経済連合会 東三河経済フォーラム

II.新たな潮流を捉えた魅力ある地域づくり

重点テーマ④ 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望
 ① 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
 ② 積極的な提言・要望活動の推進
 ・新型コロナウィルス関連（経済対策、医療体制等）
 ・中小企業対策
 ・税制・規制緩和
 ・地域開発・まちづくり
 ・社会資本整備

2) 実現性強化と成果の見える化
 ① 課題解決に向けた行政機関等との対話強化
 ② 活動成果の地域・会員へのフィードバック

重点テーマ⑤ 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進
 ① 移住・定住の促進、観光まちづくりの推進などをテーマとした、愛知県東三河総局や東三河8市町村、東三河広域連合との連携事業の展開
 ② 包括連携協定に基づいて豊橋技術科学大学と展開する社内ベンチャー・起業家育成、課題解決型プログラムの展開、中小企業の技術力・開発力の向上の取り組み強化

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現
 ① 中心市街地を核とした市域全体の魅力創造の推進
 ② 2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素経営の普及啓発
 ③ 二川・湖西地区県境域における渋滞、広域防災対策への取り組み

【主な取り組みと達成目標】

● 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実・見直し

● 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るタイムリーな要望提言の実施

● 関係行政機関や各種産業振興組織等と新たな協議の場を設けるなど、産業や地域の課題の共有を進め、共創による解決を目指し、提言・要望事項の実現強化を図る

● 東三河ビジョン協議会が実践する「移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大」事業への積極的な参画

● 東三河広域連合が進める「東三河DMO構想」実現に向けた取り組み

● 中心市街地関連組織の統合・再編による機能充実化とエリアマネジメント等の展開

● 脱炭素経営の普及啓発を図るセミナー等の開催

【取り組みの現状】
 ※下線の数値は第3四半期末実績

・会員数/5,130会員
 ・生命共済制度/加入事業所数 1,116社・口数 7,540口
 ・定期健康診断/利用事業所数：45社、受診者数：191名
 ・労働保険事務委託事業所数/307社
 ・会員サービス事業・財政基盤強化における提携先/豊橋市医師会、成田病院、アクサ生命保険、東京海上日動火災、三井住友海上火災、タスキ、ミライフなど

【感染症の影響を受けた収益事業】
 ・休業要請による貸会議室業務の中止
 ・各種検定試験の中止
 ・パソコン教室の一時休講

III.企業と地域を支える組織基盤の構築

重点テーマ⑥ 商工会議所の組織基盤強化

1) 組織・財務基盤の強化
 ① 会員サービスメニューの充実化
 ② プレスリリース、会報誌、HP、SNS、メールマガジンの効果的活用による情報発信力の強化
 ③ 生保・損保、金融機関、各種業界団体と連携した会員サービス事業の利用促進
 ④ 会員純増に向けた入会促進策の検討・展開
 ⑤ 財政基盤強化（ビル運営・貸会議室、各種保険・共済制度、検定試験など）
 ⑥ 中小企業の雇用安定を図る労働保険事務組合への加入促進

2) 運営体制の充実・強化
 ① 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
 ② 商工会議所としてのBCP策定
 ③ 事業・業務運営におけるデジタル化の推進

【主な取り組みと達成目標】

● 会員サービス委員会を通じ、利用メニューの見直しを図り、会員拡大や運営基盤強化を推進

・ 会員加入促進：新入会員 200件

● 会員メリット拡充や質の高いサービスの提供の原資とするため、財政基盤を強化

・ 新制度となった「生命共済制度」、「特定退職金制度」の加入促進キャンペーンの実施
 生命共済獲得目標口数：1,000口（5カ年）

・ ビル運営の効率化、貸会議室等の設備更新・付加価値向上

● 商工会議所の基本的組織基盤である部会活動の活性化により会員事業所との接触機会を拡充